

# ヌエック News

National  
Women's  
Education  
Centre News



2000/4/15  
第89号

国立婦人教育会館

ISSN 0911-6621

木曾義仲産湯の清水



大蔵館跡



鎌形八幡神社と  
木曾産湯の清水



山吹姫の墓

班溪寺と山吹姫

## 「会館周辺の史跡」

## も く じ

総合テーマについて“ひとこと”	
学術情報センター教授 小 山 照 夫	2
事業の実施報告	
・NWECアドバンスコース	3
・公開講演会	3
・女性の教育問題担当官セミナー	4
事業予告・募集	
・女性学・ジェンダー研究国際フォーラム	4
・男女共同参画学習推進フォーラム	4
・ヌエックフェスティバル2000	5
・婦人教育施設職員のためのセミナー	5
・教師のための男女平等教育セミナー	5

調査研究・資料の作成	5
・主催事業実施報告書	5
・家庭教育ブックレット	5
情報ネットワーク	6
ことばの基礎知識	6
嵐山往来	6
ボランティアコーナー	6
ヌエックニュース読者アンケート	7
平成12年度事業計画	8～9
かいらんばん	10

# 小山照夫氏が語る“ひとこと”

平成12年度 国立婦人教育会館総合テーマ  
『男女共同参画社会の形成をめざした「学び」  
と「活動」』



情報社会の到来が指摘され始めて久しい。事実、最近のネットワーク上の情報量増加には著しいものがあり、潜在的には莫大な量の情報が随時利用可能となってきた。しかし一方で、このような情報環境が本当に有用なものに育ってきているかというと、まだまだ問題も多い。

その主なものとしては、情報の流れが現在では明らかに非対称的であって、実際に情報を発信できる人間が少ないことや、必要な情報を発見するために時間がかかりすぎるなどを挙げることができる。

ネットワーク上で情報を発信するには、それなりの設備とデータ編集の手間が必要であり、個々の人の立場としては必ずしも気軽に情報を発信できる環境にはない。

一方、ネットワーク上の膨大な情報の中に、必要な情報が本当に存在するのか、また、そのような情報を実際に見つけることができるのかとなると、実は甚だ心許ない状況にある。

現在、また将来の情報環境を前提とした上で、男女共同参画社会を構成していくための学習環境の整備や各種活動の効率的な遂行のためには、これらの欠点をカバーしつつ、情報環境をさらに高度に使いこなしていくことが必要である。具体的にはネットワーク上で欠けている情報を関係者の協力の下に構築し、広く発信していくこと、また、リンク集など、ネットワーク上の情報資源に関する使いやすい索引を整備していくことなどが考えられよう。

幸いにして国立婦人教育会館の新しいシステムでは、このような環境の整備が現実に可能なものとなっており、また、スタッフの方々の御尽力により、実際の情報環境も整備されつつある。このシステムを中核として、広く関係者各位の協力の下に、男女共同参画社会のために真に有用な情報環境が整備されることを期待したい。

## プロフィール

現 職	学術情報センター教授
専 攻 分 野	知識工学 データベース
所属学会等	電子情報通信学会 情報処理学会 人工知能学会
主 な 著 書	エキスパート・システム（オーム社1998年） 新工学知シリーズ全3巻（東大出版会1997年）



# 事業の実施報告

## NWEC アドバンストコース

1月24日(月)～28日(金)、全国から行政担当者、婦人教育・家庭教育に関するリーダー等96名(女性:77名、男性:19名)の参加を得て、「NWEC(国立婦人教育会館)アドバンストコース」を開催しました。

この研修は、男女共同参画社会の形成に向け、婦人教育・家庭教育に関する事業の企画・立案に必要な専門知識・技術の修得及びジェンダー(社会的・文化的につくられた性別)に敏感な学習に資する実践的な研修を行うことを目的としています。

内容としては、『男女共同参画社会基本法』の制定を受け、「女性行政」「女性情報」、男女共同参画社会の形成に向けた「教育・学習の課題と方策研究」「教育・課題の今日的課題」「まとめ・評価」を柱として、「気づき」と「振り返り」「評価」のプロセスを学習の中心に据え、講義・討義、ワークショップ等、さまざまな学習方法を取り入れました。また、参加者のより深い理解に向け、「学習日記」と「まとめ・評価のレポート」の執筆・提出を試みました。参加者にはたいへんな作業であった様子でしたが、書くことの重要性を認識したり、書くことができた自分に自信をもてた方が多くみられたことは、一つの大きな成果でした。



分科会講師によるまとめ・講評



KJ法により団体・グループの課題を共有

## NWEC アドバンストコースを受講しての感想

鹿児島県知覧町 徳永善弘

ゆったりした諸設備、大野館長はじめ職員の行き届いた対応等大変満足しました。玄関前の庭に紅梅の花が咲いていて、ほっと気を抜ける情景でした。すばらしい講師陣。入江神奈川大学教授の講座で、学習者を主体とする学習(自己決定型学習) 自分の意識を問い直す学習プロセス(意識変容の学習)を学び、藤村東洋英和女学院大学教授の講座では、「英語の単語連想」や「6コマ物語」に驚きました。全く不思議な授業でした。意見の違い・行動の違いを認め合うこと、グループ討議や活動する時は役割分担をくじ引きや自発的とかの公平な方法で決めて記録して残すこと、困難なことにもチャレンジすること等を学び、アシャー・森日本大学教授・前アジア開発銀行インド事務所所長は、リーダーシップを取るために専門知識・技術を身に付け将来のあるべき姿・ビジョンを持つこと、日本人が1番足らないコミュニケーション・スキルズ(会話や書くことであらゆる人に伝達・説明・納得させる能力)が大切と話された。2日目の夜、鹿児島・青森両県受講生企画のワークショップを開催したことは良い思い出になりました。今後又エックアドバンストコース受講生が全国各地でシードとなり、男女共同参画社会形成に花を咲かす日がきっと来ると信じています。



藤村教授(中央)と鹿児島県受講生

## 公開講演会

女性、家庭・家族に関して当面する課題について解決の手がかりを得るために、2月5日(土)、劇作家・演出家の如月小春さんをお招きし、710名(募集定員600名)の参加者を得て「公開講演会」を実施しました。「今を生きる、自分らしく生きる」と題する講演の中で、如月さんは仕事・子育て・介護という多忙な日常の中、どのように自分らしく生きようと努めてきたのか、またこれからの女性はどうような生き方をすればいいのかについて語り、また会場の参加者との意見交換を行うなど、参加者それぞれが自分の生き方を考えるよい機会となりました。



講演を行う如月さん

# 事業の実施報告

## 女性の教育問題担当官セミナー

2月22日から3月19日までの4週間、文部省、国際協力事業団との共催により、開発途上国（本年度はカンボジア、エジプト、マラウイ、ミャンマー、ニジェール、ペルー、セネガル、スリランカ、タンザニア、ウガンダの10カ国）の女性の教育問題等を担当している10名の行政官を対象としたセミナーを開催しました。

このセミナーは、日本の行政官による講義、討議及び教育施設の視察を通じて、開発途上国における女性の教育を推進する施策を研修するとともに、参加各国における教育制度、機能及び教育政策などの様々な問題について考え方や情報を交換することを目的として、平成8年から実施している事業であり、本年度で4回目になります。本年度は、従来プログラムに加えて、企業で働く女性管理職との意見交換会やJICA技術協力専門家養成研修教育コース受講者とのジョイント・セッションなどを開催し、プログラムの充実を図りました。

また、地元嵐山町での小・中・高校の訪問、PTAとの懇談、家庭訪問、着付けとお茶会などは、参加者に好評でした。



嵐山町立菅谷中学校で生徒との交換会



奈良女子大学において記念撮影

## 事業予告・募集

### 女性学・ジェンダー研究国際フォーラム

8月3日(木)～6日(金)、3泊4日で「2000年女性学・ジェンダー研究国際フォーラム」を開催します。

このフォーラムは、6月に開催される国連「女性2000年会議」の成果を受け、21世紀の地球的規模での男女平等・女性の地位向上を目指し、女性学・ジェンダー研究と女性のエンパワーメントに関わる多様な研究・教育・実践活動の課題や成果を出し合い、情報交換とともに国内外のネットワークづくりを進めることを目的としています。

主題は「21世紀に向けての男女平等・開発・平和」です。内容は、主催者提供プログラムとして「基調講演」「女性2000年会議の基調報告」「国際ワークショップ」「国際シンポジウム」、そして、全国から公募した「自主企画ワークショップ」で構成します。

なお、この国際フォーラムは、会館が従来から実施している「女性学・ジェンダー研究フォーラム」と「NWEF国際フォーラム」を合体して開催します。

参加者の募集期間は、5月下旬から7月10日の間です。多数の方のご参加をお待ちしています。（詳しくは事業課、情報交流課まで）。

### 男女共同参画学習推進フォーラム

『男女共同参画社会の形成をめざした「学習」と「活動」』をテーマとし、男女共同参画社会の形成のために必要な地域における生涯学習の推進及び広域的な施設間のネットワーク形成の充実を図ることを目的とした、「男女共同参画学習推進フォーラム」で開催いたします。本年度は、盛岡市女性総合センター（7月29日(土)）、大分県生涯学習教育センター（8月20日(日)）、石川県女性センター（12月10日(土)）、岐阜県生涯学習センター（12月10日(土)）、和歌山県女性センター（平成13年1月27日(土)）の5機関で実施いたします。



# 事業予告・募集

## ヌエックフェスティバル2000 出会い・感動・ネットワーク ～男女共同参画社会の実現～

11月10日（金）～12日（日）に、「ヌエック・フェスティバル2000」実行委員会と国立婦人教育会館の共催で「ヌエック・フェスティバル2000」を開催いたします。男女平等の現状について考え、自由企画プログラムで全国の活動を知り、学び、楽しみ、交流して活動の輪を広げるというフルコースのフェスティバルです。このたび、自由企画プログラムとして学習・活動成果の報告・発表等を募集することになりました。皆様のご応募を、お待ちしております。

（内容例）ワークショップ、楽器演奏等、実技体験等、作品・写真・ポスター等の展示等

参加は2泊3日の宿泊を原則とします（詳しくは、事業課まで）。

## 婦人教育施設職員のためのセミナー

婦人教育施設職員として資質の向上を図るとともに幅広い視野を身につけることを目的に、職員（在職2年未満の施設長を含む）を対象とした「婦人教育施設職員のためのセミナー」を開催します。このセミナーは、専門的・実践的な研修を行う3泊4日の「職員コース」（平成12年6月27日～30日）、管理・運営に関する諸問題の解決に向けた1泊2日の「館長コース」（平成12年6月27日～28日）に分かれています。両コースとも男女共同参画社会の形成をめざし、施設職員がジェンダーに敏感な視点を身につけ、更に参加者自身のエンパワーメントにつながるプログラム内容により実施いたします。

また、国連「女性2000年会議」の最新の成果を踏まえた情報提供を行うことといたしております。皆様のご参加をお待ちしています（詳しくは事業課まで）。

## 教師のための男女平等教育セミナー

7月25日（火）～27日（木）2泊3日の日程で「教師のための男女平等教育セミナー」を開催します。このセミナーにおいては、「ジェンダーに敏感な視点を身につけること」「学校の中をジェンダーの視点で見直すこと」「男女平等教育推進のための課題・方策研究」により実施し、男女平等意識を高める教育の推進を目的としております。教育委員会指導主事・学校管理職・教師等の皆様の参加をお待ちしております。

## 調査研究資料の作成

### 主催事業実施報告書

平成11年度に国立婦人教育会館で実施した研修・交流・情報・調査研究の各事業の実施概要および成果を「平成11年度ヌエック（国立婦人教育会館）主催事業実施報告書」としてまとめました。研修事業の「男女共同参画学習推進フォーラム」、交流事業の「男女共同参画フェスティバル」、調査研究事業の「高齢化社会に向けての男女共同参画学習に関する調査研究」の他に、ヌエックの新しい検索システム WinetCASS や「全国ボランティア情報提供・相談窓口事業」についても新たに掲載しております。

この報告書は、各都道府県・指定都市教育委員、婦人教育施設、女性関連団体、社会教育・生涯学習センター等に配布することとしています。



### 家庭教育ブックレット

「男女共同参画、はじめの一步を家庭から 家庭教育事業推進のための理論と実践」

平成10年度から文部省の委嘱を受け「男女共同参画の視点に立った家庭教育推進方策に関する調査研究」を3年計画で進めています。このたび、2年次の研究成果として、男女共同参画の視点に立って家庭教育に関する生涯学習関係事業を企画・実施するための参考資料となるブックレット「男女共同参画、はじめの一步を家庭から 家庭教育事業推進のための理論と実践」を作成しましたのでどうぞご利用ください（詳しくは事業課まで）。



## NWEC女性情報ニューシステム「WinetCASS (ウィネットキャス)」スタート!

インターネットで必要な情報を探し出すとき、どこにあるかわからないから何回も検索を繰り返したり、いざ検索結果をみると必要のない情報がたくさんあってうんざりしたり....

今回、NWECが始めた検索システム Winet CASS (ウィネットキャス) は、そういった悩みを解決し、女性情報を効率よく的確に検索するための新しい横断検索システムです。国内外の女性情報を持っているホームページを横断的に検索する 女性情報ホームページCASS。会館作成のデータベース群と他の機関がWeb上で公開しているデータベース群(「女性と仕事の未来館」や「大阪ド・ンセンター」などの図書情報)と女性情報関連ホームページ群、この3つを合わせて一挙に検索することができる 女性情報CASS。そして、データ提供機関自身でデータ更新できる機能を持つ Winet-DB。この3つの機能を持つシステムが Winet CASS です。新しくなった会館の女性情報検索システムを皆様の活動にぜひお役にください。

(URL : <http://www.nwec.go.jp>)

\* Winetは、Women's Information NETwork System、CASSは、加、熱心に説明に聞き入った Cross Access Search Systemの略です。



WinetCASSの披露会には95名が参

## ことばの基礎知識

### 女性2000年会議

2000年6月、「女性2000年会議：21世紀に向けての男女平等・開発・平和」がニューヨーク国連本部で、各国政府代表が出席する国連特別総会として開催されます。1995年には、国際婦人年(1975年)以来の国連を中心とする世界的な女性の地位向上への取り組みの一環として、北京で第4回世界女性会議が開かれ、北京宣言及び行動綱領が採択されました。今回の会議では、行動綱領における12の重大問題領域(女性と人権、女性に対する暴力、女性と貧困、女性の教育・訓練、意思決定における女性、少女など)に関する各国の実施状況について検討・評価するとともに、実施に当たっての障害を克服するための戦略及びさらなる行動についての討議が行われます。

## 嵐 山 往 来

### 「海外婦人教育情報専門家情報処理研修事業」に関する情報交換会

2月14日から18日までの4泊5日で、平成元年度から実施している「海外婦人教育情報専門家情報処理研修事業」の今後の一層の充実を図るために過去に本事業に参加した研修生(平成4年度から10年度までの7年間、フィリピン、モンゴル、マカオ、パラオ、パキスタン、クック諸島、ベトナムの7名)を会館にお招きし、帰国後において研修の成果をどのように活用しているか、また、情報ネットワークをどのように構築しているかなどについて情報交換会を開催しました。

参加者は、研修の成果を活かして現在の職場で活躍していること、研修に参加した結果、日本のイメージが非常に良くなったことなどについて報告し、今後の研修事業への要望を述べました。また、会館滞在中には歓迎のお茶会や研修時にホームステイした受け入れ家族との再会を楽しみました。



着付けをしてお茶会に参加

## ボランティアコーナー

### ボランティア活動研究会に参加して

日頃会館においてボランティア活動を行っているボランティアを対象とした会館ボランティア活動研究会(会館主催)が開催されました。「これからの会館ボランティアを考える」をテーマとして、一年間の会館ボランティア活動を見直し、新たなステップとなる実践的な研修を実施しましたが、プログラムの企画及び実施に当たりまして、会館ボランティアが積極的にかかわりました。

研究会においては、情報提供及びワークショップが行われ、ワークショップのパート「自分を振り返る」では、吉永 宏先生を講師にワークシートを使い2時間という時間を忘れさせられる軽快なテンポで和やかな雰囲気の中で自然に自分を振り返ることができ、参加・体験学習の楽しさを味わうことができました。パート・「活動の場を考え提案する」では、主催事業・情報・国際交流・文化活動の分野に分かれ、それぞれのボランティア自身がコーディネーターを務め、それぞれ新しい発見があり、次の活動のステップが見つけられた2日間でした。

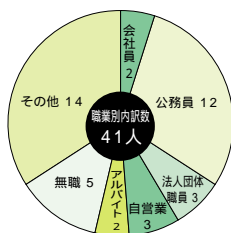
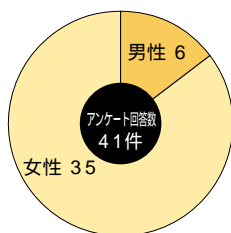


ワークショップで提案するボランティア

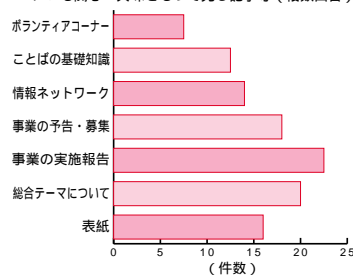
## ヌエックニュース読者アンケート

87号でお願いいたしました読者アンケートには、ご回答をいただきましてありがとうございました。下記のとおりまとめましたのでお知らせいたします。

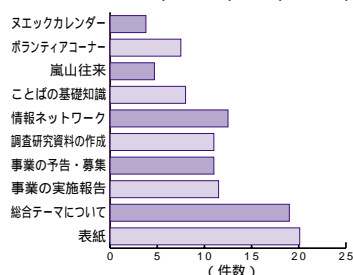
お寄せいただいたご意見、ご感想は今後の企画の参考にするとともに紙面に反映させていきたいと考えております。ご協力ありがとうございました。



いつも関心・興味をもって見る記事等（複数回答）



87号で印象に残った(良かった)記事等(複数回答)



取り上げて欲しいテーマ・内容について（主なもの）

- ・男女共同参画社会の形成に向けての海外の動き（女性2000年会議等）文部省及び総理府の女性政策等の動き。
- ・地方自治体の取り組み状況及び全国の女性センター等との連携事業の紹介。
- ・DVの実態、心理学、生涯学習、家庭教育等。
- ・ヌエックニュースへの感想・意見（主なもの）
- ・記事の文字数・ページ数の増。
- ・記事の内容をもっと詳しく掘り下げて欲しい。

### 人事異動（4月1日付）

次長  
庶務課長  
事業課長  
庶務課会計係長  
情報交流課情報係長  
情報交流課システム管理係長  
情報交流課専門職員（併）国際交流係長  
情報交流課専門職員  
庶務課会計係  
事業課事業係  
事業課事業係

情報交流課専門職員

事業課事務補佐員  
情報交流課事務補佐員

名古屋大学総務部長  
国立オリンピック記念  
青少年総合センター研修協力課長  
大阪大学学生部学生生活課長  
鹿児島大学庶務部国際主幹  
埼玉大学経理部主計課管財係長  
東京大学東洋文化研究所図書第二掛長  
東京医科歯科大学医学部医事課医療情報掛長  
東京大学法学部・法学政治学研究所図書閲覧掛長  
東京大学分子細胞生物学研究所  
研究助成掛主任  
東京大学医学部附属病院管理課用度第二掛  
埼玉大学学生部厚生課奨学係

事業課事務補佐員  
事業課事務補佐員

藤井陽光（京都大学企画調整官）  
金子寛志（大分医科大学総務部会計課長）  
高見澤光（名古屋工業大学庶務部研究協力課長）  
荻原稔（埼玉大学経理部主計課専門職員）  
柿沼徹（東京大学助手史料編さん所）  
高津敏政（東京大医科歯科大学医学部医事課専門職員）  
青木一恵（東京国立博物館総務部管理課渉外係主任）  
合田美恵子（東京大学大学院人文社会系研究科・文学部図書第一掛）  
田平慎也（東京大学生産技術研究所経理課経理掛）  
原口史之（埼玉大学教育学部庶務係）  
三宅順一（東京大学医学部附属病院総務課庶務掛）

宮澤紀美（情報交流課システム管理係主任）

佐々木絵美（採用）  
鳥羽愛（採用）

荒木長（次長）

須田利明（庶務課長）  
徳永壽美子（事業課長）  
油原ゆう子（情報交流課専門職員（併）国際交流係長）  
高橋是美（庶務課会計係長）  
岩淵玲子（情報交流課情報係長）  
工藤晃（情報交流課システム管理係長）  
池田淑子（情報交流課専門職員）

松尾美鶴（事業課事業係企画主任）  
野口達也（庶務課会計係）  
鈴木修一（事業課事業係）

濱島雅子（退職）  
加藤知子（退職）

### 表紙説明

大蔵館跡

大蔵館跡は帯刀先生源義賢の居跡で、土塁、空掘りの跡が残っています。源義賢は、当時秩父に威勢を振るっていた秩父重隆（畠山重忠の祖父の弟）の娘をめぐり、秩父氏の力を借りて仁平3年（1153）に、ここに移り住んだといわれ久寿2年（1155）8月16日の大蔵合戦の際、兄義朝の子悪源太義平に攻め滅ぼされました。

班溪寺と山吹姫

班溪寺の墓地に山吹姫の墓と伝えられる五輪塔があります。山吹姫は木曾義仲の妻であり、木曾の中原兼遠の兄にあたる二男の兼保の娘だともいわれています。義仲が栗津原で頼朝の差し向けた群に打たれ、またそのころ、鎌倉に人質になっていた嫡男義高が、鎌倉から鎌形館に逃れる途中、人間川畔で殺害されたので、夫義仲と嫡男義高の菩提を弔うため、この地に班溪寺を建立したと伝えられています。

また、班溪寺には、「威徳院殿班溪妙虎大師」と書かれた山吹姫の位牌が安置されています。

鎌形八幡神社と木曾義仲産湯の清水

鎌形八幡神社は延暦の昔（782）坂上田村麿將軍が、九州の宇佐八幡をこの地に勧請したと伝えられ、その後源氏の氏神として尊崇され、武人の神として信仰を集めてきました。

また源義賢の子木曾義仲は、この地鎌形の木曾殿屋敷に誕生し、鎌形七清水の一つ八幡神社の清水を産湯に使ったと伝えられています。



# 平成12年度又エック（国立婦人教育会館）事業計画

.....「男女共同参画社会の形成をめざした「学び」と「活動」.....

## 1 研修事業

事業名	対象者	期間	事業内容	備考
(1) 婦人教育施設職員のためのセミナー	(1) 職員コース 女性の生涯学習関連事業を企画・実施している施設等において、婦人教育・家庭教育に関連する事業の企画及び実施を担当している職員並びに情報関連業務を担当している職員 130名 (2) 館長コース 上記施設・機関の就任2年未満の館長及び相当職 20名 合計150名	(1) 職員コース 平成12年6月27日(火)～30日(金) 3泊4日 (2) 館長コース 平成12年6月27日(火)～28日(水) 1泊2日	男女共同参画社会の形成をめざした生涯学習の促進を図るため、公私立婦人教育会館・女性センター等の職員として必要な知識・技術を高めるための専門的・実践的な研修を行い、施設職員としての資質向上を図る。	
(2) 教師のための男女平等教育セミナー	各都道府県・指定都市教育委員会の指導主事、教育センターの指導主事・研修主事等及び国・公・私立の幼・小・中・高等学校(特殊教育諸学校を含む)の園長・校長・教員 120名	平成12年7月25日(火)～27日(木) 2泊3日	男女共同参画社会の形成に向け、教師の生涯学習の一環として、学校教育における人権尊重・男女平等教育に関する指導の充実及びジェンダー(社会・文化的につくられた性別)に敏感な視点の定着と深化に資する実践的な研修を行う。	
(3) 家庭・地域で担う子育て支援セミナー	(1) 地域で家庭教育支援に関わっている行政担当者(家庭教育・婦人教育・学校教育行政担当者等) (2) 行政と連携して家庭教育支援に関わっている者(家庭教育相談員・子育てサポーター子育てアドバイザー等) (3) 家庭教育支援を進めている団体・グループ(PTAを含む)・企業関係者等 100名	平成12年9月8日(金)～9日(土) 1泊2日	家庭・地域の教育力の向上を図るため、「男女共同参画2000年プラン」「男女共同参画社会基本法」及び「少子化対策推進基本方針」等を踏まえ、男女共同参画の視点に立った子育て支援を旨とし、男性の子育て・地域活動への参加促進及び母親の子育て不安の解消を図る実践的な研修を行う。	
(4) 海外婦人教育情報専門家情報処理研修事業	アジア太平洋地域の婦人教育、女性情報に関する業務に従事している専門家 6名	平成12年9月10日(日)～10月19日(木) 40日間	女性問題の意識啓発に関する分析・まとめの技術、及び情報メディアの活用技術を得させるとともに、アジア太平洋地域の女性問題に関して相互理解を深め、地域内の女性情報ネットワーク化の促進を図る。	文部省と共催
(5) フォーラム 家庭教育	地域における子育て支援に関心を持つ親、これから親になる男女、家庭教育に関心を持つ者 600名(公募)	平成12年11月12日(日)	子どもの「心の教育」の充実を図るために、男女が共に積極的に担う子育て及び地域社会との連携の中で行われる子育てについて幅広い意見交換を行い、家庭や地域社会の教育機能の活性化を促す。	交流事業「ヌエック・フェスティバル2000」の最終日に実施する。(文部省から委嘱予定)
(6) グアテマラ地方教育行政コース	グアテマラの教育行政官、地方行政官等 10名	大阪大学の受入期間4週間 のうち3日間 (平成12年11月)	日本の教育行政、学校教育教員研修のノウハウを技術移転することにより、グアテマラ国の地方教育行政の機能強化を図り、特に緊急の課題である先住民の女子教育の振興に資することを目的とする。	大阪大学と連携
(7) 女性関連施設等情報ネットワーク研究協議会	全国の婦人教育施設・女性センター等の情報担当者 50名	平成12年12月13日(水)～15日(金) 2泊3日	男女共同参画社会における女性関連施設等の情報活用方法・情報機能の連携のあり方等について研究協議を行うとともに、女性情報に関する専門的・実践的な研修を行い、各施設・職員間の情報ネットワーク形成の推進を図る。	
(8) NWECC(国立婦人教育会館)アドバンストコース	(1) 行政関係者 婦人教育・家庭教育行政担当者 生涯学習に関する行政担当者 女性行政担当者 上記以外で婦人教育・家庭教育に関する事業の企画・運営に携わっている者 (2) 婦人教育・家庭教育に関する団体・グループ等のリーダー 上記の者のうち、全期間を通じて宿泊参加できる者 応募者多数の場合、初めての参加者を優先する。 100名	平成13年1月22日(月)～26日(金) 4泊5日	男女共同参画社会の形成に向け、婦人教育・家庭教育に関する事業の企画・立案に必要な専門的知識・技術の修得及びジェンダー(社会的・文化的な学習)に資する実践的な研修を行う。	
(9) 女性の教育問題担当官セミナー	開発途上国の政府・機関等で、女性の教育問題に携わっている担当者 10名	平成13年2月13日(火)～3月10日(土) 26日間	開発途上国における男女格差の是正と女子の教育機会の保障に対する支援、及び社会発展・開発の担い手となるべき人材を育成するための教育機会の充実を図る。	国際協力事業団(JICA)からの委託
(10) 公開講演会	成人男女 600名(公募)	平成13年2月3日(土)	男女共同参画社会の形成に向けて、女性・男性、家庭・家族に関する今日的課題について、解決の手がかりを得るために、有識者による講演会を開催する。	
(11) 男女共同参画学習推進フォーラム	国内の各地域で、男女共同参画学習社会、及び女性、家庭・家族に関する問題に関心のある人 各地域200名程度	年間5回 (全国各地域にて開催。開催地域及び開催日は備考欄に記載あり)	男女共同参画社会の形成をめざし、地域の実情と人々の学習要求に応じた生涯学習の推進と、広域的な施設間のネットワーク形成の充実を図るため、婦人教育施設、生涯学習センター等の生涯学習関連施設と連携して、地域においてフォーラム等を実施する。	開催地域・開催日 岩手県(7月29日(土)) 大分県(8月20日(日)) 岐阜県(12月10日(土)) 石川県(12月10日(土)) 和歌山県(1月27日(土))
(12) 社会教育実習生等受入事業	大学で社会教育実習を受講する学生等のうち館長が認めた者 若干名	年間4回程度 各回7日間程度	大学担当教授との協議に基づき、(主催事業の補助業務等の体験学習を通じて、婦人教育の現状と、婦人教育施設の役割を学習することを目的とする。	

## 2 交流事業

事業名	対象者	期間	事業内容	備考
(1) 女性学・ジェンダー研究国際フォーラム	女性学・ジェンダー研究に関心のある国内外の成人男女 1,000名 (内訳) 宿泊(全日程)参加者 150名 ワークショップ運営者 (100件×2名) 200名 日帰り参加者 1,200名	平成12年8月3日(木)～6日(日) 3泊4日	女性2000年会議の成果を受け、21世紀の地球的規模での男女平等・女性の地位向上を目指し、女性のエンパワメントと女性の権利の確立に資するため、女性学・ジェンダー研究と女性のエンパワメントに関わる多様な研究・教育・実践活動の課題や成果を出し合い情報交換を行うとともに、国内外でのネットワークづくりを進める。	
(2) ヌエック・フェスティバル2000	都道府県・市町村教育委員会等が企画する研修に関する団体グループ及び全国の団体・グループ等 700名 (内訳) 宿泊(全日程)参加者 350名 (自由企画プログラム運営者160名、一般参加者190名) 350名 日帰り参加者	平成12年11月10日(金)～12日(日) 2泊3日	男女共同参画社会の形成に向けた多様な生涯学習を展開している全国の団体・グループに、日頃の学習・活動の報告・発表、研修及び全国的な交流の機会を提供し、男女共同参画社会をめざした参加者相互の学習、交流及びネットワークづくりを図る。	「ヌエック・フェスティバル2000」実行委員会と会館との共催。



### 3 調査研究事業

事業名	研究協力者等	事業内容	備考
(1) 高齢社会に向けての男女共同参画学習に関する調査研究	婦人教育・家庭教育関連分野の研究者等 若干名	男女共同参画社会の形成をめざし、高齢期における豊かなライフスタイルの実現に向けた男女共同参画学習を進めるため、ジェンダーに敏感な視点に立ち高齢男女の生活と意識に関する調査研究を行う。	第2年次 (2年計画)
(2) 地域の子育て環境づくりに関する調査研究	婦人教育・家庭教育関連分野の研究者等 若干名	家庭教育をサポートする地域の環境づくりについて、子どもの発達段階に応じた実践的、学際的な調査研究を行う。	第3年次 (3年計画)
(3) 男女共同参画の視点に立った家庭教育推進方策に関する調査研究	婦人教育・家庭教育関連分野の研究者等 若干名	幼児期から性別にとらわれず、個性や人権を尊重し、男女共同参画意識・価値観を育む家庭教育推進方策の在り方の調査研究、及び男女共同参画の視点に立った家庭教育プログラムの開発・教材作成を行う。	第3年次 (文部省から委嘱：3年計画)
(4) スエック 公開シンポジウム	女性問題、家庭問題、教育問題の専門家・研究者、マスコミ・行政関係者等 150名	国立婦人教育会館の女性、家庭・家族に関する調査研究で得られた最新の成果を発表し、男女共同参画に向けた調査研究の充実を図るため、公開シンポジウムを開催する。	東京都教育委員会と共催予定
(5) 女性及び家族に関する学習情報の調査	公私立婦人教育施設、婦人教育関連施設、婦人関係施設及び生涯学習センター等	関係機関等への調査を通じて、女性及び家族に関する学習情報を収集・データベース化し、オンラインで提供することによって、女性情報の流通促進を図ると同時に、女性の学習機会の拡充を図る。調査は「女性学」、「施設」の2種類について実施する。	
(6) 家庭教育に関するマルチメディアデータベースの調査研究	家庭教育、情報学、生涯学習等の研究者、専門家 若干名	家庭教育に関する利用者参加型情報交流システム及び家庭教育支援紹介窓口データベースを構築するとともに、情報交流システムデータベースを活用した家庭教育に関する学習プログラムについて調査研究を行う。	
(7) 婦人教育シソーラスに関する調査研究	シソーラス、婦人教育、女性学関連の研究者、専門家 若干名	男女共同参画社会の実現に向けて情報機能の充実を図るため、婦人教育関連語の新しい概念構造を体系化し、それに基づいた婦人教育シソーラスに関する調査研究を行う。	第1年次 (2年計画)

### 4 情報事業

#### (1) 婦人教育情報センターの運営

事項	事業内容	備考
女性及び家族に関する情報資料の収集・整理・提供	女性及び家族に関する情報・資料を収集・整理し、利用に供する。最新の情報を収集するとともに、会館の活動及び日本の女性に関する情報を英文で紹介する。	
Winet CASSの整備・充実	Winet CASS（女性情報HP-CASS、女性情報CASS、Winet-DB）の整備、各種データベースの更新及びホームページによる情報提供の充実を図る。	
レファレンス・サービス及び文献複写サービス	来館者または電話・文書による問い合わせに対して情報を提供し、コピーによる資料を提供する。また、各種の婦人教育関係データベースにより、関連情報を迅速に検索し提供する。	
女性及び家族に関する図書資料の展示	国立婦人教育会館が所蔵する資料について、四半期ごとにテーマ展示を行い、女性及び家族の分野の理解を深める。	
情報提供サービスの充実	会館ホームページにおいて会館の宿泊室の空き状況、研修施設の利用状況、家庭教育等のデータベース等最新の情報提供を行い、情報提供サービスの充実を図る。	

#### (2) 資料の作成・配布

資料名	内容	発行回数	配布先	備考
「国立婦人教育会館研究紀要」 (第4号)	婦人教育、家庭教育、女性学、女性情報に関する会館の調査研究を国内外に発表するとともに、公募論文を選考して掲載する。 テーマ「女性と人権」	平成12年10月 年1回	国内・国外の関係大学図書館、婦人教育施設、及び女性団体等	
「スエック（国立婦人教育会館）主催事業報告書」	年度内に実施した研修・交流・情報事業の実施概要と当該年度が最終年次にあたる調査研究事業のまとめ。	平成13年3月 年1回	都道府県教育委員会、婦人教育施設及び女性団体その他の関係機関等	
「女性学・ジェンダー研究国際フォーラム」	全国の団体・グループの女性のエンパワーメントについての活動情報として、女性学・ジェンダー研究国際フォーラムの主催者提供プログラム・自主企画プログラムをまとめて提供する。	平成13年3月 年1回	同上	
「WINET情報」	女性・家族に関する文献情報及び情報センター利用に関する情報を中心に会館からの情報をわかりやすく提供する。	平成12年9月 平成13年3月 年2回	都道府県教育委員会、婦人教育施設及び女性団体、関係大学図書館、その他の関係機関等	
「NWEC Newsletter」	NWECの活動及び最新の日本の女性の現状について、英文で海外に紹介する。	平成12年7月 平成13年1月 年2回	海外の婦人問題担当行政機関、女性センター及び女性団体、国際機関等	
「スエック ニュース」	国立婦人教育会館の事業及び関連の事業を紹介し、広報する。	平成12年4月、7月、10月 平成13年1月 年4回	都道府県教育委員会、婦人教育施設及び女性団体、その他の関係機関等	

#### (3) 全国ボランティア情報提供・相談窓口事業

名称	事業内容	備考
全国ボランティア情報提供・相談窓口事業	ボランティア活動を始めたい人に対し、ボランティア活動に参加する動機付けを促進し、希望に沿った活動に結びつける機会を提供するため、電話等により情報提供や相談を行うことによりボランティア活動の充実を図る。 情報提供業務 ボランティア業務を始めたい人に対するボランティア活動情報の提供。 相談業務 教育・学習に関するボランティア活動を始めたい人からのボランティアに関する相談への対応。 実施方法・内容 ・電話相談（9：00～17：00；12月28日～1月4日を除く毎日） ・FAXによる相談受付（随時） ・インターネットを利用した情報提供（随時）	

## 利用案内

休館日（平成12年5月～平成12年7月）

5月1日（月）・15日（月）

6月5日（月）・19日（月）

7月3日（月）・17日（月）

休館日でも前日に宿泊した方は、朝食と午前10時までの宿泊棟の利用ができます。

電話やFAXによる申し込みの受付や利用相談も行っています。

【申し込み専用電話番号】TEL:0493-62-6723

FAX:0493-62-6720

全国ボランティア情報提供・相談窓口

【受付時間等】12月28日～1月4日を除く毎日 午前9時～午後5時

電話：0493-62-1131

FAX：0493-62-8185

E-mailアドレス：vol@nwec.go.jp

会館ホームページアドレス：http://www.nwec.go.jp/

（インターネットによる情報提供を会館ホームページから公開しています。）

## 又エックカレンダー

### 1月

### 主な利用団体（1～3月）

- 13～16日 Vnet社会教育施設ボランティア交流会
- 15～16日（社）国際婦人教育振興会
- 29～30日 埼玉県教職員組合女性部

### 2月

- 10～12日 関東聴覚障害学生の集い
- 12～13日 埼玉県スポーツ指導者研修会
- 17～19日 女の階段全国集会
- 20日 福祉寺子屋 99閉講式（嵐山町）
- 26～27日 埼玉県学童保育連絡協議会

### 3月

- 3～4日 女性のエンパワーメントのための  
男女共同参画学習フォーラム（文部省）
- 22～24日 板橋中央看護専門学校
- 26～30日 戸田中央総合病院グループ

## 展示コーナー

### 「子どもへの虐待のない社会に」

今回（10～12月）の展示は、最近非常に問題となっている「親から子どもへの虐待」をテーマとして取り上げました。なぜ、親が子を虐待するのか、虐待する親が生まれる社会的背景を探るとともに、虐待から子どもたちを守るためには何が必要か、その社会的支援策とは何かについて考える資料を一階エントランスホールに展示中ですので是非ご覧ください。

＊展示資料例

「虐待を受けた子どもの治療」「虐待：沈黙を破った母親たち」「子どもと暴力：子どもたちと語るために」ほか



## 編集後記

今年度の又エックニュース表紙は、会館周辺の史跡、自然等を年4回にわたり紹介していきます。来館されたことがある方、そうでない方にも会館がある嵐山町周辺に親しみを感じていただき、何でも会館に訪れていただきたいと思います。

今号では会館の機能である研修・交流・情報・調査研究の4つの事業の12年度計画を掲載いたしました。「フォーラム家庭教育」「公開講演会」「又エックフェスティバル2000」など、どなたでも参加できる事業がありますのでお問い合わせのうえご参加下さい。

平成13年4月より国の行政改革により、当会館は独立行政法人に移行することになります。このことについては後日紙面の中でお知らせする予定です。今年度もよろしくお願いいたします。

## 又エックニュース第89号

平成12年4月15日発行

編集発行 国立婦人教育会館

〒355-0292 埼玉県比企郡嵐山町菅谷728

☎0493-62-6711(代表)

FAX.62-6722(庶務課) 62-6720(事業課) 62-6721(情報交流課)

ホームページURL http://www.nwec.go.jp/

E-mail webmaster@nwec.go.jp